

令和6年度川端康成生誕月記念企画展

川端康成

入館無料

と

王朝文学

『源氏物語』

への思い

2024年6月8日(土)～7月15日(月・祝)

午前9時～午後5時 火曜日休館

茨木市立川端康成文学館

令和6年度川端康成生誕月記念企画展

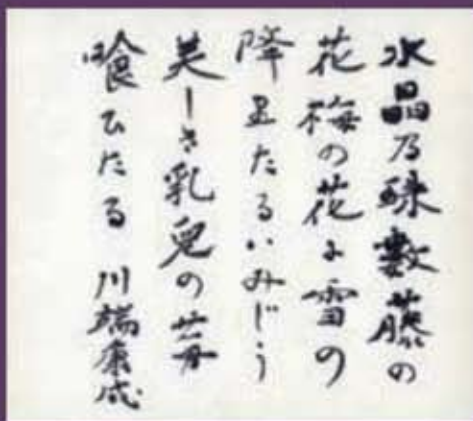
川端康成と王朝文学 — 『源氏物語』への思い —

2024年6月8日(土)〜7月15日(月・祝)

成立から千年、『源氏物語』は多くの人々を魅了してきました。川端康成もまた、その一人です。

意味もおぼろげなまま、ただひたすらに読んだ茨木での少年時代。和本の『湖月抄』によって『源氏物語』の世界に没入し、「もののあはれ」の継承者であることを自認した戦時下。現代語訳に意欲を燃やしつつ、その困難さを痛感する晩年。

令和6年度の川端康成生誕月記念企画展では、川端康成がその時々々に『源氏物語』に寄せた思いをたどります。



川端康成書「枕草子」(あてなももの)より「水晶の珠数」



川端康成が『源氏物語』を『源氏物語』と書き、と本人の地に送った手紙と書籍『源氏物語』(源氏物語) (源氏物語)

【ギャラリー展示】

奥宣憲書 三條西実隆「詠源氏物語巻々和歌」

『源氏物語』の巻名が詠み込まれた和歌を、流麗な書と意匠を凝らした料紙とで表現した作品を展示。



同「源氏」



「詠源氏物語巻々和歌」より「源氏」

奥宣憲

書家。書道史学会会員、日本書芸院審査委員会。2015年川端康成文学館開館30周年記念ギャラリー企画展「川端康成が愛した京都 源氏物語の世界」を機に『源氏物語』と和歌との関わりを研究し、2022年に完成。

三條西実隆(1455〜1537)

室町時代の公家・歌人。有職故実・古典に通じ、『源氏物語』研究において多大な業績を残す。応仁の乱後の混乱を極める時代に古典と公家文化の伝統を後世に伝えようとしたその生涯には、川端康成も深い関心を寄せた。

【関連イベント】

第38回文学講座(前期)『源氏物語』と近現代の作家たち—川端康成を中心に—

講 話 ①6月16日(日)

「川端康成は『音』をどう聞いたか? —『山の音』と源氏物語—」
フェリス学院大学名誉教授 三田村 雅子 氏

②7月7日(日)

「『源氏物語』に魅せられた作家たち」
大阪樟蔭女子大学名誉教授・田辺聖子文学館長 中 周子 氏

時 間:午後2時〜4時

ワークショップ 6月9日(日)「王朝の遊び—貝合をつくる—」

時 間:午後1時〜4時

※講座・ワークショップの詳細、お申し込み方法は、文学館ホームページでご確認ください。

映 画 「源氏物語」(1951年大映) 監督:吉村公三郎 主演:長谷川一夫

日 時:6月20日(木)午後2時〜4時15分(開場:午後1時30分)

会 場:男女共生センターローズWAM 地下2階WAMホール

定 員:150人(申込不要、当日先着順)

入場料:無料



アクセス

JR JR総持寺駅から1.0km
JR JR茨木駅から1.4km
阪急茨木市駅から1.3km
名神茨木ICから車で約7分
駐車場有、原則30分無料
以降30分毎100円、大型バス要予約

この印刷物は0000枚作成し、
1枚あたりの厚さは0.01mmです。
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

リサイクル適性 A

茨木市立 川端康成文学館
Ibaraki Municipal Kawabata Literature Hall

〒567-0881 大阪府茨木市上中条二丁目11-25
TEL 072-625-5978 FAX 072-622-9858